

日本語教育方法研究会 30 周年記念大会（第 60 回研究会）

発表申込のご案内

申込締切：日本時間 2023 年 2 月 2 日（木）13 時

2022.11.07. JLEM 事務局

会員の皆様へ

30 周年記念大会（第 60 回研究会）は、2023 年 3 月 18 日（土）、19 日（日）の 2 日間にわたり、東京工業大学において対面で開催いたします。（ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、オンライン開催に切り替わる可能性があります。）

第 1 日・3 月 18 日（土）を 30 周年記念企画、第 2 日・3 月 19 日（日）を研究発表の日として進める予定です。こちらでは、第 2 日・研究発表のご案内をいたします。申し込まれる方は以下の点にご注意ください。

0) 発表内容

0-1) 日本語教育・日本語教育方法への貢献

下記の会則第 2 章第 4 条を十分に理解し、日本語教育・日本語教育方法にどのように関連し貢献するかを会誌原稿とポスターの両方に明確に示してください。

第 2 章 目的・事業

第 4 条 本会は、会員相互の協力によって、日本語教育の現場に役立つ、日本語教育方法に関する実践的かつ科学的・実証的研究調査を推進し、この研究調査に関して情報の交換を行うことによって、日本語教育の質の向上を図ることを目的とする。

日本語教育方法研究会会則 [kaisoku2015.pdf \(jlem-sg.org\)](#)

0-2) オリジナリティのある、未発表の研究であること

すでに他学会で発表されたもの、投稿中のものはご遠慮ください。

0-3) 研究倫理の遵守

研究上の倫理を踏まえた内容としてください。捏造、改ざん、盗用、二重投稿の疑いがあるものは受け付けません。

0-4) そのほか

特定の個人・機関・教材等を誹謗中傷しているもの、商品の宣伝にあたるものは受け付けません。

1) 発表成立の要件

研究会会誌への掲載、ならびに、ポスター発表完了をもって発表成立とみなします。

ただし、オンライン開催に切り替わった場合、やむを得ず要件が変更となることがあります。(後述の「2) 発表方法 2-2) オンライン開催の場合」をご覧ください。)

2) 発表方法

30周年記念大会(第60回研究会)第2日・3月19日(日)・研究発表の日は、以下の方法でポスター発表を行います。

なお、対面・オンラインいずれの開催方法であっても、事前に発表用ポスターのデータ(A4縦長サイズのPDFファイル)を提出していただきます。感染状況によっては、直前にオンライン開催に切り替わることも考えられるためです。

2-1) 対面開催の場合

- ①最大でA0版(横840mm x 縦1189mm)に収まるように印刷したポスターを、研究発表当日会場に持参し、割り当てられた発表ラウンドにしたがって、所定の場所に貼りだす。
- ②割り当てられた発表ラウンドの中で、発表+質疑応答を何度か繰り返す。
- ③必要であれば、関連資料・実験材料の配布や展示をしてもよい。
- ④発表ラウンド終了後、ポスターや資料を片づけ、次のラウンド発表者に引き継ぐ。

2-2) オンライン開催の場合

- ①ビデオ会議システムZOOMを利用。ブレイクアウトセッションの1ルームに1つずつ発表が割り当てられる。
 - ②発表者は、事前に提出した発表用ポスターを画面共有機能で見せながら発表を行う。
 - ③割り当てられた発表ラウンド60分の中で、1サイクル=発表10分+質疑応答10分を3サイクル繰り返す。
- *オンライン開催に切り替わった場合、運営上の都合により発表題目の上限を80件とします。超えている場合、抽選によりご発表いただく方を決定します。抽選から漏れた方は、研究会会誌への掲載をもって発表成立といたしますので、ご了承ください。

3) 発表資格について

3-1) 会計年度

JLEMでは、4月から翌年3月までを会計年度としています。

例 2022年度=2022年4月~2023年3月

3-2) 発表資格

発表者全員が発表申込時点で会員であり、2022年度の会費を支払い済みである必要があ

ります。会員の方は、2023年1月26日（木）までに2022年度の会費納入を完了してください。

2021年度、2022年度の2年分の会費が未納の方が、1年分の会費3000円を振り込んだ場合、2021年度の会費に充当され、2022年度の会費は未納扱いになります。

また、新たに入会される方は2023年1月26日（木）までに入会申込・会費納入の両方を完了してください。（期日・1月26日（木）に会費を振り込まれますと、確認に時間がかかる場合があります。時間に余裕をもって手続きを行ってください。）

期日の翌日・1月27日（金）以降の会費納入、入会申込には対応できません。

会費納入状況は以下当研究会ウェブサイトで確認可能です。申込をされる前に、発表者全員が各自の会員ページで会費支払いが済んでいることを必ずご確認ください。

<https://secure.jlem-sg.org/>

「会員ページ」→「会員ログイン」→「会費納入状況」

振り込みは、JLEMで会員として登録している名前で行ってください。大学名や別名義での振り込みですと、会計担当が入金を確認できません。ご登録の名前以外で振り込みを行う場合、必ずその旨下記の問い合わせフォームよりご連絡ください。

<https://secure.jlem-sg.org/contact>

2月2日（木）13時の発表申込締め切り後に、事務局が発表者の発表資格を確認します。発表資格がない発表者が含まれる発表課題は、受理できませんのでご注意ください。

4) 発表件数

筆頭での発表は1本までとします。

5) 発表申込方法 申込締切：日本時間2023年2月2日（木）13時

所定の発表申込フォームに必要事項を記入し、会誌原稿ファイル、チェックリストをアップロードして提出してください。なお、ファイル名はこちらの指定したものにしてください（後述の「9）会誌原稿執筆要領 9-2）執筆要領」をご覧ください）。

発表申込時の必要事項は以下の通りです。*は必須項目です。

① 筆頭発表者名・所属*

（名前は姓名の順に入力してください。大学院生、学部生の場合、「〇〇大学大学院生」「〇〇大学学部生」と入力してください。）

② 筆頭発表者名フリガナ*

③ 筆頭発表者メールアドレス*

④第二発表者名・所属

(フォームの設定で「任意」と表示されますが、第二発表者がいる場合、④⑤⑥は必ず記入してください。)

⑤第二発表者名フリガナ

⑥第二発表者メールアドレス

⑦第三発表者以降の名前、フリガナ、所属

(第三発表者以降の発表者がいる場合に必ず記入してください。)

⑧発表資格に関する確認*

⑨発表題目*

⑩発表要旨 (300 字程度) *

⑪会誌原稿 (ワードファイル) *

ファイル名を「JLEM2303 (筆頭発表者名)」としてください。

例：JLEM2303 (横浜太郎)

⑫会誌原稿 (PDF ファイル) *

ファイル名を「JLEM2303 (筆頭発表者名)」としてください。

例：JLEM2303 (横浜太郎)

⑬JLEM 会誌原稿チェック項目シート (エクセルファイル) *

ファイル名を「JLEM 会誌原稿チェック項目シート 2303 (筆頭発表者名)」としてください。例：JLEM 会誌原稿チェック項目シート 2303 (横浜太郎)

⑭発表時間帯の希望*

⑮対面開催の場合 ポスター発表時電源使用希望の有無*

資料の提示用機器 (例 PC) に電源が必要でしたら用意しますのでご希望の有無をお知らせください。機器自体は、ご自身でご用意ください。

⑯対面開催の場合 ポスター発表时机使用希望の有無*

資料や持参された機器を置くための机が必要でしたら用意しますのでご希望の有無をお知らせください。

⑰その他

発表者名が旧字等により正しく入力できなかった場合は、会誌原稿中のお名前に合わせてこちらで修正します。その必要がある場合には、その方のお名前 (新字体) をこちらにご記入ください。

発表申込は、以下のフォームよりお願いいたします。

<https://pro.form-mailer.jp/fms/d597bfba268422>

会誌原稿の執筆については、後述の「9) 会誌原稿執筆要領」をご参照ください。

また、入力情報に誤りがある場合、上記フォームより再度送信するのではなく、以下のメ

ールアドレスまで修正事項をお知らせください。

happyo@jlem-sg.org

6) 当日の発表者数

対面開催の場合、人数制限はありません。

オンライン開催の場合、運営の都合上、研究発表当日の発表者は各発表グループ筆頭発表者、第二発表者の2名までとします。プログラム確定後、参加者には事前申込をさせていただきますが、当日の発表者ではない共同発表者が参加される場合にも、同様に事前申込をお願いいたします。なお、その場合でも実際に発表を行うことができるのは筆頭発表者、第二発表者のみです（発表後のディスカッションへの参加を妨げるものではありません）。

7) 発表用ポスターの事前提出

対面・オンラインいずれの開催方法であっても、事前に発表用ポスターのデータ（A4縦長サイズのPDFファイル）を提出していただきます。感染状況によっては、直前にオンライン開催に切り替わることも考えられるためです。

開催前にポスター閲覧サイトを設定・公開し、参加者が事前に発表用ポスターの閲覧・ダウンロードができるようにします。その関係で、発表者の方には、3月4日（土）13時までに、事務局に発表用ポスター（A4縦長サイズのPDFファイル）を提出していただきます。期日までにポスターの提出がない場合には、発表辞退として扱われますので、ご注意ください。

なお、3月19日（日）研究発表日のポスター発表時に掲示できるのは、事前に提出されたもののみです。発表用ポスターは、閲覧サイトに研究発表日1週間後の3月26日（日）まで公開し、閲覧・ダウンロードが可能な状態とします。

8) 今後のスケジュール

今後のスケジュールは以下の通りです。

1月26日（木）発表者の会費納入、入会手続き期限

2月2日（木）13:00 申し込み締切（原稿提出）

3月4日（土）13:00 発表用ポスター提出締切

3月12日（日）発表用ポスター事前閲覧開始（予定）

3月19日（日）研究発表当日

9) 会誌原稿執筆要領

9-1) 原稿枚数：A4の用紙2枚でご執筆ください。制限枚数を越えたものは掲載しません。

9-2) 執筆要領：

当研究会ウェブサイトより最新の「マニュアル」「フォーマット」「チェック項目シート」をダウンロードしてください。これらは開催のたびに改定を重ねており、以前のものから何かしらの変更があります。

今回の第 60 回研究会に向けては、必ずファイル名末尾が 2303 となっているものをお使いください。

<http://jlem-sg.org/announcement.html>

ダウンロード後、「JLEM 会誌原稿作成マニュアル 2303」で執筆要領を理解する→「JLEM フォーマット 2303」に直接書き込む形で原稿を作成する→「JLEM 会誌原稿チェック項目シート 2303」に沿って点検する、と進めてください。そうでないと書式がフォーマットに合わなくなる可能性があります。

9-3) 執筆に関する注意点

- ・原稿の修正や再提出をお願いする場合があるため、締め切り後 2 週間程度は確実に連絡が取れるようにしてください。編集委員の指定した期日までに修正稿が提出されなかった場合、発表を辞退したものとみなします。
- ・日本語教育への関連がわかるような書き方をしてください。
- ・データ、結果の考察を含めてください。「結果については後日、研究会で発表」というような書き方をせず、論文として完結した体裁を取ってください。
- ・発表予稿集ではなく会誌のため、本文では、「本発表は」「発表者は」などという表現ではなく、「本研究は」「本稿は」「筆者は」などの表現を用いるようにしてください。
- ・提出された原稿はそのまま縮小印刷します。鮮明な原稿をご用意ください。特殊な記号や文字をご使用の場合もご注意ください。図、表についても同様です。
- ・作成後は、原稿を一度印字し、文字間・行間の広さがフォーマットと同様になっているか、ご確認ください。文字間・行間が広すぎたり狭すぎたりすると、編集の際、修正にかなり時間がかかります。

9-4) 日本語による題目・氏名・所属、および英文による題目・氏名・所属

- ・日本語による題目・氏名・所属は会誌目次と会誌本文、英文による題目・氏名・所属は会誌本文に掲載します。
- ・発表申込時に記載する題目・氏名・所属は、会誌原稿と同一の内容にしてください。
- ・題目、著者（発表者）は、発表申込時に届け出られたものを正式なものとみなし、その後変更できないことにご注意ください。

9-5) 英文要旨

- ・英文要旨は 100 ワード程度で、発表申込時に記載する和文要旨と同一の内容にしてください。

さい。ただし、一言一句対応したものでなくてもかまいません。

- ・英文の題目および要旨に関しては、必ずネイティブチェックを受けてください。また、日本語非母語話者の方は、本文のネイティブチェックを忘れずに受けてください。
- ・「結果については後日、研究会で発表」というような記述にはしないでください。
- ・本文同様、「本発表は」「発表者は」などという表現ではなく、「本研究は」「本稿は」「筆者は」などの表現を用いるようにしてください。

10) 発表用ポスター

「2) 発表方法」「7) 発表用ポスターの事前提出」で説明したように、発表用ポスターは事前に A4 縦長サイズ 1 枚のデータを提出し、対面開催の場合はそれを拡大印刷したものの、オンライン開催の場合はそのデータをご使用ください。

11) 会誌原稿のジャーナル公開サイト掲載の承諾

会誌発行から1年を経過したものから逐次ジャーナル公開サイト(J-stage)に掲載し、「無償公開」といたします。その手続きの一環として、発表申込と同時にジャーナル公開サイト掲載をご承諾いただいたものとして取り扱います。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

12) 口頭発表について

ご提出いただいた原稿の中から、全体会での口頭発表(発表9分、質疑応答2分)に適していると思われるものを事務局で選ばせていただきます。どの発表者に行っていただくかは、暫定版・確定版プログラムでお伝えします。

なお、口頭発表者に選ばれた方にもポスター発表をしていただきますので、お間違えのないようお願いいたします。

以上、よろしく願いいたします。